

1 講座名・定員など

(1) 授業科目

NO	科 目 名	担当者名	実施 時期	曜日	時限	授業時間	定員
1	エイジングの心理学	山崎幸子	後期	月	2	1 限 9:10～10:40 2 限 10:50～12:20 3 限 13:10～14:40 4 限 14:50～16:20 5 限 16:30～18:00	若干名
2	権利擁護を支える法制度	中島修		火	2		
3	教育の思想と歴史	木村浩則		火	3		
4	メディア社会学	登丸あすか		木	3		
5	臨床心理学概論Ⅱ	横山剛		金	1		
6	障がい者スポーツ概論	青木通		金	3		
7	運動学Ⅰ	山崎敦		集中			
8	物理療法学Ⅰ	中俣修		集中			
9	発達期作業療法学演習Ⅱ	神作一実		集中			
10	作業分析学	西方浩一		集中			
11	神経系作業療法評価学	大橋幸子		集中			

*授業の曜日や時限は、変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

*各科目とも、授業は全15回を予定しています。

*学期末試験の受験は不要です。また、成績評価も行いません。

*No.1～6 <人間学部 開講科目>

⇒ 9月第3週目より順次授業が開始いたします。

*No.7～11 <保健医療技術学部 開講科目>

⇒ 集中授業形式で実施されます。詳細な授業日程は概要欄をご確認ください。

⇒ 初回授業日については、以下の通りです。

- ・運動学Ⅰ (9/18 1時限目)
- ・物理療法学Ⅰ (9/16 4時限目)
- ・発達期作業療法学演習Ⅱ (10/24 3・4時限目)
- ・作業分析学 (9/22 4・5時限目)
- ・神経系作業療法評価学 (9/22 2・3時限目)

(2) 場所

文京学院大学ふじみ野キャンパス
〒356-8533 埼玉県ふじみ野市亀久保 1196
TEL (049) 261-6488 (代)

アクセス方法

- 東武東上線ふじみ野駅西口より
スクールバスで7分(無料)
- 東武バス「ふじみ野駅」発 大井循環
(文京学院大学経由)「文京学院大学前」
下車、9分(有料)



2 受講料等

- (1) 受講料 1科目(半期)につき10,000円
(初講日に現金にて徴収)。
- (2) その他 教科書等の教材は自己負担によりご用意いただきます。

3 受講の申込み

- (1) 申込期限 令和7年9月1日(月)(消印有効)

- (2) 申込先

〒356-8533 埼玉県ふじみ野市亀久保 1196

文京学院大学 教務グループ

電話 049-266-0253

E-mail: f-hum-kyoumu@m.bgu.ac.jp

- (3) 申込方法

以下の事項を漏れなくご記入の上、Eメールにてお申し込みください。

なお、Eメールの送受信が難しい場合は、ハガキでのご送付をお願いいたします。

- (1) 郵便番号、住所

- (2) 氏名

- (3) 年齢(令和7年4月1日現在)、性別

- (4) 電話番号

- (5) 受講希望科目

- (4) 選抜方法

定員を超える申込みがあった場合は、抽選により受講者を決定します。

- (5) その他

やむを得ず受講を取りやめる場合は、早めにご連絡をお願いいたします。未受講の場合、受講料は不要ですが、お支払いいただいた受講料の返金はできかねますので、ご了承ください。

4 各授業科目の概要及び担当教員

エイジングの心理学 (山崎 幸子)	医療、福祉、介護に加え企業においても高齢者や高齢期に対する関心が増え対応が求められてきている。本講義で学んだ成果を社会に出た際に活用していけるよう、高齢期特有の身体状況、社会環境要因などについても触れながら、それらがどのように心理面に影響を及ぼすかといった多面的で包括的な理解を促すことを目的とする。
権利擁護を支える法制度 (中島 修)	法に共通する基礎的な知識を身につけるとともに、権利擁護を支える憲法、民法、行政法の基礎を理解する。また、権利擁護の意義と支える仕組みについて学習し、権利が侵害されている者や日常生活上の支援が必要な者に対する権利擁護活動の実践について理解する。そして、権利擁護活動を実践する過程で直面しうる法的諸問題を理解し、ソーシャルワークにおいて必要となる成年後見制度について理解することを目的とする。
教育の思想と歴史 (木村 浩則)	古代から近代、現代の子育て・教育思想について理解するとともに、それを現場の教育実践と関連づけてとらえることができる。教育の営みを歴史的視点から洞察することで、現実をクリティカルにとらえ、別様な教育やあり方を構想できる。
メディア社会学 (登丸 あすか)	メディアスタディーズの基本的な理論、メディアの発展の歴史を理解し、現在のメディア社会における諸問題を多角的に捉える視点を身につける。授業の前半ではメディア研究の歴史、後半ではメディアと社会の関わりについて学ぶ。
臨床心理学概論Ⅱ (横山 剛)	臨床心理学の種々のテーマについて、心の多角的捉え方、理解の仕方、臨床心理学上の基礎知識、実践、研究領域、方法、倫理などを学ぶ。
障がい者スポーツ概論 (青木 通)	障がい児・者と運動・スポーツとの関連性を多面的に理解し、支援していく際に必要となる基礎的な知識を身につける。また、得られた知識を実践場面で活用する方法を学ぶ。
運動学Ⅰ (山崎 敦)	骨・関節・筋といった運動器に関する解剖・生理学的知識を学ぶ。また、肩複合体および肘・前腕複合体の解剖学的構造とその運動について学ぶ。 ①9/18 1時限、②9/22 3時限、③9/29 3時限、④10/6 3時限、 ⑤10/20 3時限、⑥10/27 3時限、⑦11/3 4時限、⑧11/10 3時限、 ⑨11/17 3時限、⑩11/24 3時限、⑪12/1 3時限、⑫12/2 2時限、 ⑬12/9 2時限、⑭12/15 3時限、⑮12/22 3時限
物理療法学Ⅰ (中俣 修)	物理療法は理学療法技術の一つである。この科目では各種物理療法で使用される機器の特性、物理的刺激に対する生体への作用、適応と禁忌について学ぶ。また、実際の実施方法について学ぶ。 ①9/16 4時限、②9/30 4時限、③10/6 2時限、④10/7 4時限、 ⑤10/14 4時限、⑥10/20 3時限、⑦10/20 4時限、⑧10/28 4時限、 ⑨11/4 4時限、⑩11/17 3時限、⑪11/17 4時限、⑫11/21 3時限、 ⑬11/25 3時限、⑭12/2 3時限、⑮12/9 4時限

発達期作業療法学演習Ⅱ (神作 一実)	障害を持っているお子さんの、リハビリテーションについて、演習を通して学んでいく科目です。知的障害や脳性麻痺などの障害に加えて、発達障害や被虐待児の作業療法について、演習を通して学びます。この科目では、食べる機能のリハビリテーションや吸引の実習も含まれます。 ①10/24 3時限、②10/24 4時限、③10/31 3時限、④10/31 4時限、⑤11/19 3時限、⑥11/19 4時限、⑦12/3 3時限、⑧12/3 4時限、⑨12/5 3時限、⑩12/5 4時限、⑪12/10 3時限、⑫12/10 4時限、⑬12/12 3時限、⑭12/12 4時限、⑮12/19 3時限
作業分析学 (西方 浩一)	日常的に行われる様々な活動を作業療法では作業と呼びます。本授業ではこの「作業」について理解を深め、分析する視点を養います。また人を作業的存在として捉えることができるようになることを目標とし、自分自身を作業を通して振り返る、作業と健康との関連などを学びます。 ①9/22 4時限、②9/22 5時限、③9/29 4時限、④9/29 5時限、⑤10/6 4時限、⑥10/6 5時限、⑦10/13 4時限、⑧10/13 5時限、⑨10/20 4時限、⑩10/20 5時限、⑪10/27 4時限、⑫10/27 5時限、⑬11/3 4時限、⑭11/3 5時限、⑮11/10 4時限
神経系作業療法評価学 (大橋 幸子)	主に脳卒中患者の身体機能および認知機能（高次脳機能）の検査・評価方法を学ぶ授業です。個々のニーズに沿ったリハビリテーションメニューを検討するために必要な、各種検査・評価法について、方法と手順、結果解釈について理解することを目的とします。実際に検査を行う実習が含まれます。 ①9/22 2時限、②9/22 3時限、③9/29 2時限、④9/29 3時限、⑤10/6 2時限、⑥10/6 3時限、⑦10/13 2時限、⑧10/13 3時限、⑨10/16 2時限、⑩10/27 2時限、⑪10/27 3時限、⑫11/3 2時限、⑬11/3 3時限、⑭11/10 3時限、⑮12/1 3時限